

国連大学 鳥瞰型環境学サマースクール2007

UNU Summer School 2007 for Bird's-eye View Experts on Environment

主催：国際連合大学ESDプログラム

開催趣旨：環境学を大学院に進学してまで学習する熱意があつて、将来日本の環境・開発関連分野のリーダーになるであろう大学院学生に、可能な限り広い環境観をもつために、多くの学習機会を与えるために開催されるものである。理科系・文科系の区別の無い環境学の講義が可能であるかどうか、といった観点からの実験でもある。

関東圏を中心とするが、今年は、やや範囲を拡大し、面白い講義をしてくれることが確実な先生、ベストと思える研究者・実務者15名を選択し、一人3時間の講義を聞く。



カンチェンジュンガ 標高8586m

場所：国際連合大学 5F 会議室

〒150-8925 渋谷区神宮前5丁目53-70

交通：渋谷駅から徒歩10分、表参道駅から徒歩6分



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

日時：8月20日(月)～24日(金)、8月27日(月)～31日(金)、以上10日間

毎日 午前の部：10:00(初日11:00)～13:00、午後の部：14:00～17:00

ただし、第2週は、午後20時ぐらいまで、自主的議論と自主的作業の時間が入る可能性あり。

対象と募集定員：大学院修士課程1年、博士課程各学年に在学中の大学院生で環境or開発関連の研究論文テーマを有する者。修士2年は博士課程進学希望者(就職未定者を含む)に限る。 合計21名。

費用：院生の受講料は無料。交通費は遠距離の場合、片道分程度以上の補填あり。遠隔地からの参加者で宿泊費が必要な場合には、最大60%(上限有り)まで補填する。

講義内容の例：

決まり次第HPにてお知らせします。

1. 鳥瞰型環境学による未来予測
2. 生態系の管理のありかた
3. 都市環境未来論
4. 企業の環境部とは何か
5. 金属資源は充分にあるのか
6. 電子機器のリサイクルと環境影響
7. 環境コンサルの仕事とは
8. 環境リスクの心理的側面
9. 環境疫学とは何か
10. 日本の環境史を正しく理解する
11. 化石燃料はどのぐらいあるか
12. 国際ガバナンスと環境問題
13. 平和と統治と人間安全保障
14. 地球史的な視点の必要性
15. 化学物質のリスクとの付き合い方

参加募集

インドシキム地方の棚田

募集要領、詳しいカリキュラム(予定)などは、次のホームページで御確認下さい。<http://www.yasuienv.net/>